

# 第23回 小学生新聞グランプリ

## まなぶん大賞・高学年の部

道内の小学生が地域や学校などの話題取材して書いた新聞のコンクール「第23回どうしん私とぼくの小学生新聞グランプリ」（北海道新聞社など主催）。最高賞の「まなぶん大賞」に選ばれた6点を、7日に統一してしょうかいします。今回は高学年の部です。受賞者の感想と「週刊まなぶん」編集部の記者が感じた作品の見どころもまとめました。

佳作以上の入賞作は15日まで、札幌市中央区大通西3の北海道新聞本社で展示しています。

なが みね もも か  
長嶺 百華さん



さっぽろ しみなみく いしやまみなみしろう  
札幌市南区・石山南小6年

地域の方にいろいろお話を聞きました。安心できる高齢化社会は、人と人のつながりと助け合いが必要だと実感しました。

いち かわ りん  
市川 凜さん



くしろ し くるしろう  
釧路市・釧路小5年

戦争の残こさを多くの人に知ってほしいです。防空ごうのエピソードを4コマ漫画にうまくまとめられました。

いい だ え み り  
飯田 英美里さん



さっぽろ しきたく こうほくしろう  
札幌市北区・幌北小4年

警察へのインタビューをたくさん書いて、デザインも工夫しました。何日もかけて仕上げた新聞なので自信がありました。

### 地域の高齢化 丹念に調査

「安心して未来へ」をテーマに身近な高齢化社会を調べるため、地域の人たちから丹念に話を聞いて仕上げた作品です。高齢化の現状をグラフでまとめるだけでなく、元気に長生きできるお年寄りを増やすことを今後の課題にあげました。そのために、お年寄りに生きがいを持ってもらい、暮らしに困ったときに気軽に相談できる人を増やす大切さをうたっています。

### 釧路空襲 あふれる臨場感

「釧路空襲」と力強い見出し。発生日時や被害をコンパクトにまとめた表には、出典もきちんと書いてあります。何より曾祖母から聞いた「死を覚悟した二日間」の話が臨場感あふれる文章でつづり、それだけに「命と平和の大切さを忘れずにいたい」という感想が重みを持ちました。マンガや料理の体験記事をふくめ、新聞紙面をよく知っている作りだと感じました。

### 世界の標識 ちがいで一目で

世界地図と各国の道路標識の写真をうまく組み合わせ、日本とのちがいを分かりやすく示しています。外国人観光客ドライバーの交通事故の防止対策について警察にインタビューし、英語で「STOP (ストップ)」と書かれた一時停止の標識が少しずつ増えていることも分かりました。時間によって内容が変わる標識を吉符して写真に収めるなど、努力が光る作品です。